

報告事項

文化センター圏域自主防災連絡会について

1 背 景

これまで市の防災活動の一つとして、市内各町の自主防災組織の代表 37 名で構成される「府中市自主防災組織連絡会議」を設置し、年に数回程度、講演会の開催や先進的な活動事例の紹介などを行っていたが、活動内容が地域全体に周知されにくい、地域毎の課題や自主防災組織の活動状況に合わせた支援が行いにくいなどの問題があった。

「まち」の社会特性や自然特性等に合わせた防災対策を全ての自治会・自主防災連絡会を対象に活動レベルに合わせた支援を展開することが求められている。

2 目 的

市内 11 箇所の文化センター圏域毎に地域自主防災連絡会を創設し、府中市内全ての自治会・町会・管理組合を対象に圏域毎の地域特性等に合わせた防災活動を展開することで、市民が自ら主体的に「災害に強いまち」を作り上げる活動につなげることを目的とする。

- (1) 文化センター圏域の自治会等が防災に関して交流する場の創設
- (2) 文化センター圏域毎のまちの社会特性や自然特性に合わせた活動の実施
- (3) 主体的に防災活動に取り組む防災リーダーを育成
- (4) 近隣の自治会同士のみならず、学校や事業所などの他の活動主体と連携が図れるよう支援
- (5) まちの特性に合わせた地域防災診断や学習会・研修会の充実

3 スケジュール

3年計画で市と市民が一体となって「災害に強いまちづくり」を推進していく。

(1) 1年目（地域の防災課題の整理）

様々な災害や防災に係る情報を活用することで、防災力や災害対応上の強み・弱みを明らかにしたうえで、圏域の防災上の課題を整理する。

(2) 2年目（対策の検討・立案）

1年目に明らかとなった課題を踏まえて、地域の強みを活かした効果的な対策を検討し、次年度からの取組計画を作成する。先進的な地域の事例などを参考に、地域の現状に応じて、身の丈に合った（実行可能な）対策を策定する。

(3) 3年目以降（対策の実施・見直し）

2年目に各地域で作成した取組計画に基づき、計画した対策を企画・実施する。また、取り組んだ対策の効果を検証し、地域の取組等を見直す。対策の実施を通じて地域課題の解決を図り、新たな問題を発見しながら、地域防災力を継続的に向上させる。

4 進捗状況

(1) 平成27年度

本連絡会の創設にご賛同いただくため、昨年の8月から2月にかけて、それぞれ11箇所の文化センターにおいて、説明会、準備会を計3回開催。

(2) 平成28年度

災害や防災に関する基礎的な知識について理解する、地域の防災対策上の問題を理解し、整理することを目的に3回の連絡会を開催。

ア 第1回

平成28年6月29日から7月7日にかけて、各文化センターで第1回自主防災連絡会を開催。参加者は合計367人、202団体。

(7) 座学研修

防災に関する基礎的な知識を習得するための座学研修



(i) グループワーク

地域の特徴を市民の方自らで洗い出すためのワークショップ



イ 第2回

平成28年9月下旬から10月上旬を予定。

ウ 第3回

平成28年12月を予定。